

図書館と県民のつどい埼玉 2013報告



平成 25 年 12 月 1 日（日）にさいたま文学館・桶川市民ホールで、「図書館と県民のつどい埼玉 2013」が開催されました。記念講演・講座・展示で、延べ約 1,700 名の方に御参加いただきました。

午前に行われた記念講演では、作家の原田マハさんを講師にお迎えし、「読むこと、見ること、生きること—文学／アートとの出会い」をテーマに、お話ししていただきました。原田さんが子どものころに出会った文学やアート、『楽園のカンヴァス』の制作秘話など、たくさんの印象深いお話を聞くことができました。アンケートでも、「感動しました」「素晴らしかったです」と好評の声が多く寄せられました。

午後には、子ども読書活動交流集会の 3 つの講座（絵本・わらべうた・科学読み物）が行われたほか、工夫を凝らした様々な展示コーナー（原田マハ氏著作展示・図書館のイベント紹介・ブックケア・大学図書館のお宝）、休憩スペースのブックカフェも、終日大勢の方でにぎわいました。

（詳しい内容は、埼玉県図書館協会のウェブサイトまたは「図書館と県民のつどい埼玉 2013 記録」をご覧ください。）

注目！ 子ども読書活動交流集会 絵本講座 絵本の世界、手渡す楽しみ

『七歳までは夢の中』の著者で、絵本の翻訳などのお仕事もされている松井るり子さんを講師に迎え、絵本を手渡す楽しみについてお話ししていただきました。

『森のおひめさま』や『ピッツァぼうや』といった絵本を紹介される中で、絵の中に描かれた子どもたちの姿や、遊び、家族のやり取りなど、色々な観点からその絵本の楽しさや魅力を語っていただき、絵本の様々な楽しみ方に気づかされました。また、松井さんが絵本に登場する植物の図鑑を作ったことや、お子さんが絵本の主人公のまねをしたいと言ったことなど、松井さんご自身の体験談もあり、とても楽しいお話を聞くことができました。講座では、絵本の読み聞かせだけでなく、簡単な輪唱やあやとり、折り紙など、内容も盛りだくさんで、参加した方々から終始笑顔がこぼれる 2 時間でした。「絵本の見方がかわりました。」「今後の読み聞かせの参考にしたい。」といった声も聞かれました。



子ども読書支援情報誌

携帯用 QR コード



しえん

Shien 第17号

子どもの読書に関わる大勢の方の活動とネットワークを支援 (Shien) するそんな大きな願いをもったささやかな情報誌です。

平成 26 年 3 月 15 日 発行

埼玉県立久喜図書館 子ども読書支援センター

《目次》

- 子どもと一緒に楽しみながら・・・1
- 連載：おはなし・読み聞かせ実践講座⑩・・・1
- 連載：子ども読書支援関係ボランティア団体等紹介⑩・・・2
- 新聞・雑誌クリッピング担当から・・・2
- ブックリスト担当から・・・3
- インターネット情報からの情報収集担当から・・・3
- 図書館と県民のつどい埼玉 2013 報告・・・4
- 読み聞かせボランティア団体のための講師派遣・・・4

子どもと一緒に楽しみながら・・・

読書が生活の一部になればとの思いで北本市の自宅で始めた文庫が 30 年を越えましたが、現在市内には 7 文庫あります。文庫とほぼ同時に「すべての子どもに読書の喜びを」と掲げた文庫連絡会と、学習グループを発足させました。多くの児童書の中で優れた本を子どもに手渡すには学習が必須であり、子育て中のお母さんにも参加して欲しいと考えて発足時から保育室を設けました。熱意のある若いお母さんの参加に繋がり、今では活動のバトンが次々にリレーされているのを実感しています。文庫連絡会と学習グループは両輪のように協力し合って、ブックスタートから小・中・高校でのおはなし会などさまざまな場で子どもと本を繋ぐ実践を行ってきました。また、5 年前から地元高校の家庭科（男女共修）で「心を育てる子育てを絵本と共に」のテーマで 2 年生全クラスで 100 分お話ししています。この講義が生徒の心を動かし「自分の子にも是非絵本を読んであげたい」と多くの生徒が感想を寄せ、小学校での読み聞かせや県内図書委員研修会での読み聞かせ分科会の開催に発展しました。



子どもの実体験は限られます。子どもが本で出会う豊かな言葉によって育まれる想像力や健康なものの考え方は、生きていく上での大きな力になると私は考えます。これが私の活動の原動力です。

藤本富美子（ともだち文庫 北本市子ども文庫連絡会代表）

おはなし・読み聞かせ実践講座 ⑩

なるほど！



読み聞かせなどのワンポイントアドバイスをリレーでお届けするコーナーです。今回のテーマは『紙芝居』。いつでも・どこでも・だれでも演じられる紙芝居をやってみませんか？

まず始めに作品を選んでみましょう

紙芝居は絵本と同じくらい数が多いので、作品選びが大変です。そんな時は、インターネットで【おすすめ紙芝居】(<http://homepage2.nifty.com/kamishibai/>) と検索してみてください。季節、対象年齢等、テーマ別に分類され、簡単なあらすじも紹介されているので、この中からいくつか候補を選び、図書館で実際に読んでみて、自分に合った作品を見つけると良いと思います。

紙芝居を演じる時に大切な事は？

1. 演じる前に必ず紙芝居の順番を確認してください。
2. 舞台を使ってください。
 - ☆ 舞台は子どもの目の高さより少し上が良いでしょう。
 - ☆ 三面開きの舞台は扉を開ける前に、「今日はどんなお話かな」などと言いながら、ゆっくり扉を開けると良いと思います。
3. 作品を何度も読んで、十分な下読みをしてください。
 - ☆ 登場する人や動物は、どんな気持ちでこの台詞を言ったかを考えながら、心をこめて声に出せば、自然に観客に届くのが紙芝居です。
4. 紙芝居は抜き方も大切です。
 - ☆ 「さっと抜く」「ゆっくり抜く」「途中まで抜いて止める」この色々な抜き方で、見る楽しさが倍増です。



さあ、あなたも観客と一緒に紙芝居を楽しみながら演じてみましょう！

岡安俊江（おはなしボランティア「トムの会」）

読み聞かせ・ストーリーテリング★昨年度の派遣先は約 40 団体です★

初心者向け研修会に講師を派遣します

（読み聞かせボランティア団体のための講師派遣）

絵本の読み聞かせやストーリーテリングの初心者向け研修会に、

県立久喜図書館で養成したおはなしボランティア指導者を派遣します。

研修会の開催方法は県立久喜図書館がサポートいたしますので、お問い合わせください。研修会開催の 1 か月前までに下記までお申し込みください。

お申込み・ご案内：県立久喜図書館子ども読書推進担当 TEL：0480(21)2659

https://www.lib.pref.saitama.jp/stplib_doc/ko_shien/shien1.html

編集後記

年明けに幼稚園でお話し会をしてきました。子どもの笑顔は宝物ですね。またその笑顔に会えるよう、私も新たな一歩を進まなければ……。 (子ども読書支援ボランティアN)



編集発行 埼玉県立久喜図書館
子ども読書支援センター
協力 子ども読書支援ボランティア

埼玉県立図書館のウェブサイト「子ども読書支援サービス」
<https://www.lib.pref.saitama.jp/> ※バックナンバーはこちら

〒346-8506 埼玉県久喜市下早見 85-5
TEL 0480(21)2659 (代) 彩の国
FAX 0480(21)2791 埼玉県

Shienくん ⑩

「えほんのよみかた」イロイロ

ひびりて

ふたりで

みんがで

そして やっぴりひざのうえ

おはなしボランティア「すぶんふる」 子ども読書支援関係ボランティア団体等紹介①

私たちは、富士見市で図書館スタッフの方とともに活動している図書館ボランティアです。「すぶんふる」の由来は、スプーンいっぱい (full) の (といってもほんのわずかですが) おはなしを一人でも多くの人たちにお届けできたという願いをこめて、1995年「富士見市おはなしボランティア養成講座」を終了した人たちが集まって発足しました。現在11名程のメンバーで活動しています。

日々の活動 こんなこと!

- ◇ 年に一度のおとなのおはなし会「おはなしひなあられ」 毎年3月3日
- ◇ 夏のこわーいおはなし会 毎年8月下旬
- ◇ 市内の図書館で(3館) 毎月1回 図書館スタッフの方とともに語ってます
- ◇ 小学校や中学校のおはなし会に参加 楽しく聴いていただいています
- ◇ 地域のおじいちゃん・おばあちゃんたちの「ふれあいサロン」 などやかな雰囲気の中で語り、喜ばれています

また、近隣の市町村で同じ語りの会をもっているサークルの人たちとも毎年交流会(すずめの会)をもっています。互いに語り、互いに聴いて、感想・意見(辛口・甘口)など言っていただき、多くの方々の語りを楽しむと同時に、いい勉強の場・反省の場・今後につながる参考の場ともなっています。見学もできますので、どうぞ足をお運びになり、たくさんのおはなしをお楽しみください。

須藤幸枝(おはなしボランティア「すぶんふる」代表)

きりめき羅針盤

新聞・雑誌クリッピング担当から

今回は、2013年11月に埼玉県立久喜図書館で開催された「世界の子どもの本展」

- 一 IBBY(国際児童図書評議会)がすすめる世界の児童書208冊] についての記事をご紹介します。【埼玉新聞 2013.11.14 朝刊 14面】



IBBY(国際児童図書評議会)はこどもと本を結ぶ活動に関わる人々の国際ネットワークで、「国際アンデルセン賞」「IBBYオナーリスト」などの事業を行っています。国際アンデルセン賞は2年に1度、こどもの本の世界に顕著な貢献をした作家と画家に贈られており、「小さなノーベル賞」とも呼ばれています。日本では今までに赤羽末吉、安野光雅、まど・みちおが受賞しています。2012年は作家賞にマリア・テレサ・アンドルエット、画家賞にピーター・シスが選ばれました。

県立久喜図書館2階に設けられた展示会場には、国際アンデルセン賞受賞者の作品をはじめ、世界の児童書208冊が手に取りやすい形で展示されていました。開いたページに馴染みのない言語が綴られていても挿絵が物語をつないでくれる。これが絵本の良さかもしれません。この点、ピーター・シスの作品は邦訳書が多いので嬉しさ倍増です。

ひとつの国の一冊の児童書がさまざまな国の言語に翻訳される今、それらの本が世界中のこどもたちに共有される日も遠くないと感じた今回の展示でした。

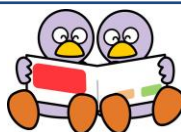
仁昌寺(子ども読書支援ボランティア)

記事の原本は県立久喜図書館のこども室で見られます! 子ども読書関連新聞記事はウェブサイトに掲載中!

定例会: 毎月第2水曜日
※おはなし、昔話がお好きな方
お仲間になりませんか?
問い合わせ: 富士見市立中央図書館
049-252-5825

Nice to meet you!
子ども読書支援ボランティアです。

埼玉県立図書館のホームページ
<https://www.lib.pref.saitama.jp/>
「子ども読書支援サービス」のページ

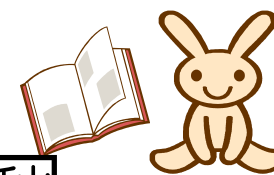


埼玉県のマスコットコパン

コネクターでは、私たち3グループの活動の一端を

使えるブックリスト

ブックリスト担当から



秋のプログラム

「おすすめ読み聞かせ絵本リスト」追加作業中です!

ブックリストグループでは、平成19年に完成した季節ごとの『おすすめ読み聞かせ絵本リスト』(冊子は支援センターで配布)への追加リストを作っています。完成から早7年「新しい本」や「やっぱり良い!」という絵本を追加した方が良いのでは? という事で、まずは、低・中学年向きの秋の絵本を選びました。選んだ本は18冊、今までのリストと合わせて15分のプログラム案も作りました。一例をご紹介します。

①にあわせるなら、この3冊。どの組み合わせでも違う雰囲気面白い。

- ①はテンポよく。
- ②は細かい木の葉が良く見えるように!

低学年

- ①『ぎゅうぎゅうかぞく』
ねじめ正一作/つちだのぶこ絵
/すずき出版
- ②『ガオ』 田島征三作/福音館書店
- ③『もりのなか』 マリ・ホル・イツ文・絵
/福音館書店



中学年

- ①『とんぼ』 三浦七穂詩
/イ・グワック絵/岩崎書店
- ②『やまなしもぎ』 平野直再話
/太田大八画/福音館書店
- ②『エマおばあちゃん』 ウェンディ・ケルマン文
/バーバラ・クニ絵/徳間書店
- ②『干し柿』 西村豊写真・文/あかね書房



是非、こども達と秋を満喫してください!
大塚(子ども読書支援ボランティア)

全リストはココから [web トップブックリスト](#)

知っ得情報!

インターネット情報からの情報収集担当から
** おすすめウェブサイトの紹介 **

今回はブックトークを取り上げているサイトを紹介します。

- ☑ ボランティア活動お役立ち情報 ブックトーク (横浜市立図書館) <http://www.city.yokohama.lg.jp/kyoiku/library/>
ブックトークのシナリオ作り、留意点、実演動画、参考図書・資料を掲載。入口はトップページ下。
- ☑ ブックトーク研修報告(PDF) (山梨県立図書館) <http://www.lib.pref.yamanashi.jp/booktalk.pdf>
小2から高校生までのブックトークのシナリオ、ブックリスト集。
- ☑ ブックトークゼミナール (NPO法人上田図書館倶楽部) <http://ueda.zuku.jp/booktalk/index.html>



グループによるブックトーク。受講者が本を読み込みブックトークを作り上げていく過程と台本が掲載されています。台本の「聞き手の反応予想とのずれ」の欄がユニーク。「NPO法人上田図書館倶楽部」トップページ (<http://ueda.zuku.jp/>)「図書館倶楽部の発行資料」からは第一期・第二期の台本を閲覧できます。

大澤(子ども読書支援ボランティア)

子ども読書支援センターからのお知らせ

「0歳からの親子で楽しむ
あかちゃんえほん」
好評につき増刷しました!
希望の方に郵送します。
問い合わせ 0480-21-2659



県立図書館ウェブサイト
<https://www.lib.pref.saitama.jp/>
「子ども読書支援サービス」にPDF版を掲載しています。

県立図書館の司書が選んだ、
おすすめの赤ちゃん絵本
全50冊。楽しい紹介文つき!